

1 設置目的

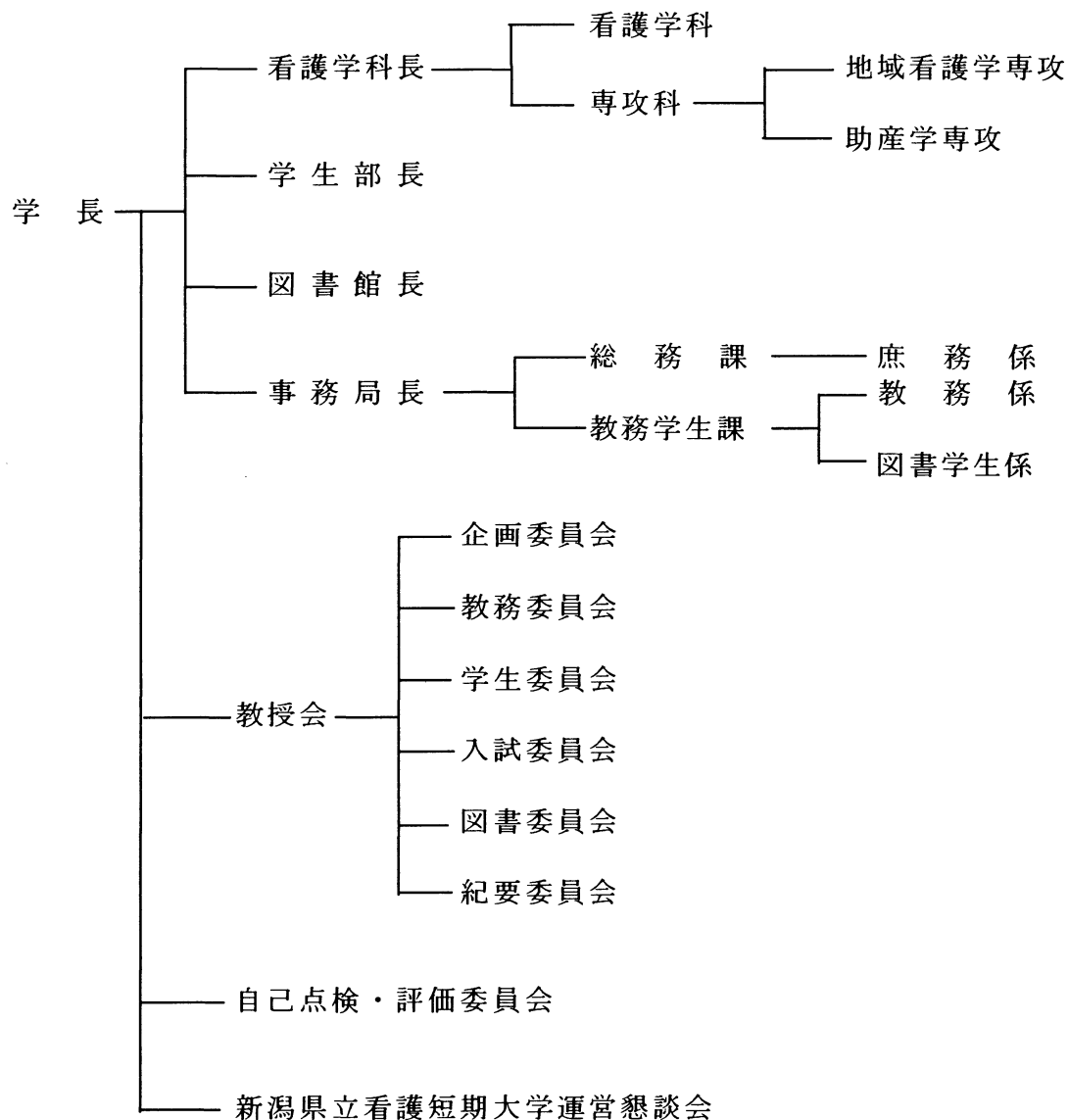
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

2 沿革

- 平成 2 年 6 月 ・ 「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12 月 ・ 「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成 3 年 3 月 ・ 県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4 月 ・ 県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5 月 ・ 県立看護短期大学「上越市設置、平成 6 年 4 月開学」知事決定
- 7 月 ・ 「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11 月 ・ 「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成 4 年 4 月 ・ 県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5 月 ・ 基本・実施設計完了
- 10 月 ・ 校舎建設工事着工
- 平成 5 年 4 月 ・ 県立看護短期大学設立準備室組織強化
- ・ 短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9 月 ・ 看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12 月 ・ 文部大臣より短期大学設置認可
- 平成 6 年 1 月 ・ 文部大臣より看護婦養成学校指定 ・ 校舎建設工事完了
- 4 月 ・ 新潟県立看護短期大学開学 ・ 第 1 回入学式挙行
- 5 月 ・ 開学記念式典挙行
- 平成 7 年 3 月 ・ シンボルマーク制定
- 5 月 ・ 第 1 回戴帽式挙行
- 平成 8 年 3 月 ・ 校歌制定
- 12 月 ・ 専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
- ・ 保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成 9 年 3 月 ・ 第 1 回看護学科生卒業式挙行
- 平成 9 年 4 月 ・ 専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）開設
- 平成 10 年 3 月 ・ 第 2 回看護学科生卒業式、第 1 回専攻科生修了式挙行
- 平成 13 年 3 月 ・ 第 5 回看護学科生卒業式、第 4 回専攻科生修了式挙行

3 大学組織

(1) 大学運営機構



(2) 教職員の状況

① 教員、職員数

ア 専任職員

(平成13年3月現在)

担当	学長	教授	助教授	講師	助手	計
基礎科目		2人	1人	1人		4人
専門基礎科目	1人	1人				2人
専門科目		4人	6人	12人	11人	33人
計	1人	7人	7人	13人	11人	39人

イ 非常勤講師

(平成 13 年 3 月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 13 人	・新潟大学 ・上越教育大学 ・県立新潟女子短期大学 ・山梨医科大学 ・国立療養所犀潟病院 ・新潟労災病院 ・厚生連上越総合病院 ・市内開業医 ・県立病院、県福祉保健部、県保健所 ・その他
専 門 基 礎 科 目 32 人	
専 門 科 目 22 人	
計 67 人	

ウ 事務局

(平成 13 年 3 月現在)

区 分	局長	課長	係長	主査	主任	主事	嘱託員等	計
事 務 局	1 人							1 人
総 務 課		1 人	*1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	6 人
教務学生課		(1 人)	*1 人 1 人		2 人	1 人 司書 1 人	5 人	11 人
計	1 人	1 人	3 人	1 人	3 人	3 人	6 人	18 人

※ () は兼務、*係長は副参事

② 専任教員名簿

(平成 13 年 3 月現在)

職 名	氏 名	主要担当科目
学 長	斎 藤 秀 晃	医 学 概 論 看 護 学 特 論 II
看護学科長	加 藤 光 實	看 護 学 概 論 臨 床 看 護 学 総 論 I
教 授	小野澤 康 子	成 人 看 護 学 概 論 成 人 保 健
〃	田 中 キミ子	老 年 看 護 学 概 論 成 人 看 護 学 実 習 IV
〃	杉 田 収	生 化 学 ・ 化 学 統 計 学
〃	中 野 正 春	解 剖 生 理 学 I リハビリテーション概論
〃	佐々木 美佐子	在 宅 看 護 概 論 地 域 看 護 学 概 論
〃	関 谷 伸 一	生 物 学 解 剖 生 理 学 II

職 名	氏 名	主要担当科目
助 教 授	長 野 勝	精 神 臨 床 看 護 学 精 神 保 健
〃	小 林 ミチ子	基 礎 看 護 技 術 Ⅱ 基 礎 看 護 学 実 習 Ⅰ
〃	中 村 博 生	英 語 Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ
〃	小 林 優 子	成 人 臨 床 看 護 学 Ⅰ 臨 床 看 護 学 実 習 Ⅰ
〃	秋 山 智 弥	臨 床 看 護 学 総 論 Ⅰ 成 人 看 護 学 実 習 Ⅰ
〃	山 本 澄 子	基 礎 看 護 技 術 Ⅰ 基 礎 看 護 学 実 習 Ⅰ
〃	近 藤 好 枝	母 性 看 護 学 概 論 助 産 学 概 論
講 師	秋 山 啓 子	小 児 保 健 学 小 児 臨 床 看 護 学
〃	山 田 洋 子	臨 床 看 護 学 総 論 Ⅱ 成 人 臨 床 看 護 学 Ⅳ
〃	水 口 陽 子	老 年 臨 床 看 護 学 実 習 老 年 看 護 学 実 習
〃	小 林 美代子	臨 床 助 産 学 母 性 看 護 学 実 習 Ⅱ
〃	小 林 恵 子	地 域 看 護 技 術 論 Ⅰ 地 域 老 年 保 健 学
〃	平 澤 則 子	地 域 看 護 技 術 論 Ⅲ 地 域 成 人 保 健 学
〃	飯 吉 令 枝	地 域 看 護 学 実 習 Ⅱ 地 域 看 護 技 術 論 演 習
〃	渡 辺 弘 之	社 会 学 社 会 福 祉 制 度
〃	安 田 かづ子	母 性 看 護 学 実 習 Ⅱ 助 産 診 断 技 術 学 Ⅰ
〃	熊 倉 みつ子	在 宅 看 護 概 論 成 人 看 護 学 実 習 Ⅳ
〃	和 田 佳 子	母 性 臨 床 看 護 学 健 母 性 保 健
〃	山 田 正 実	成 人 臨 床 看 護 学 Ⅱ 成 人 看 護 学 実 習 Ⅰ
〃	大 井 ひかる	成 人 看 護 学 実 習 Ⅱ 臨 床 看 護 学 総 論 Ⅱ
助 手	大久保 明 子	基 礎 看 護 学 実 習

職名	氏名	主要担当科目
助手	西脇洋子	基礎看護学実習
〃	斎藤智子	基礎看護学実習
〃	太田和美	基礎看護学実習
〃	岡村典子	基礎看護学実習
〃	布施幸子	基礎看護学実習
〃	高塚麻由	基礎看護学実習
〃	森本美智子	基礎看護学実習
〃	小嶋久枝	基礎看護学実習
〃	垣内志保	基礎看護学実習
〃	山元智穂	基礎看護学実習

③ 非常勤講師名簿

(平成13年3月現在)

氏名	担当科目	所属等
太田昌秀	保健体育(実技)	上越教育大学 教授
砥堀雅信	保健体育(講義)	上越教育大学 教授
川島章弘	情報科学概論・演習	上越教育大学 教授
藤澤郁夫	哲学	上越教育大学 教授
若井彌一	教育学	上越教育大学 教授
西山保子	物理学	上越教育大学 教授
安田尚	看護学特論Ⅳ	上越教育大学 教授
山本保	機能集団の保健管理	上越教育大学 教授
三浦望慶	運動科学	上越教育大学 教授
立屋敷かおる	栄養論	上越教育大学 教授

氏 名	担当科目	所 属 等
光 永 伸一郎	栄養学	上越教育大学 助教授
黎 子 椰	中国語Ⅰ・Ⅱ	上越教育大学 助教授
阿 部 勲	心理学	上越教育大学 助教授
大 森 康 正	情報管理学	上越教育大学 講師
井 沢 功一朗	パーソナリティの諸問題	上越教育大学 講師
横 山 和 彦	福祉行政論・保健医療経済論	新潟大学経済学部 教授
石 井 敏 弘	健康政策論	国立公衆衛生院 主任研究官
花 沢 成 一	母性の精神衛生	
若 月 章	国際関係論	県立新潟女子短期大学 助教授
渡 邊 タミ子	小児看護学概論	山梨医科大学 助教授
武 内 廣 盛	精神病態学	国立療養所犀潟病院 精神科医長
寺 尾 通 徳	微生物学	新潟県保健環境科学研究所 細菌科長
石 田 道 雄	遺伝学	厚生連上越総合病院 産婦人科部長
高 橋 壮一郎	病態学Ⅵ (老年)	見附市保健福祉医療センター長
星 山 真 理	病態学Ⅲ (内分泌)	柏崎中央病院 副院長
石郷岡 泰	行動科学	仙台白百合女子大学 人間学部長
樋 口 正 一	放射線医学	新潟労災病院 放射線科部長
澁 谷 久	科学史	
中 島 大 住	文化人類学	
古 川 素 子	臨床栄養学	
荊 木 久 彌	法学	
村 川 英 三	看護学特論Ⅲ	県立中央病院 院長
片 桐 明 善	病態学Ⅰ (泌尿器)	県立中央病院 泌尿器科医長
阿 部 惇	病態学Ⅰ (血液・造血器)	県立中央病院 診療部長
土 田 正	病態学Ⅲ (脳神経外科)	県立中央病院 診療部長
末 山 博 男	放射線医学	県立中央病院 放射線科部長
長谷川 正 樹	病態学Ⅱ (腹部外科)	県立中央病院 外科部長
内 藤 彰	病態学Ⅱ (消化器)	県立中央病院 内科医長
山 崎 国 男	病態学Ⅱ (消化器)	県立中央病院 内科部長

氏 名	担当科目	所 属 等
武 田 幸 彦	病態学Ⅴ（歯・口腔）	県立中央病院 歯科口腔外科部長
永 井 孝 一	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 内科部長
田 部 浩 行	病態学Ⅲ（神経内科）	県立中央病院 神経内科医長
丸 山 正 則	病態学Ⅲ（麻酔科）	県立中央病院 救命救急部長
小 林 理	病態学Ⅷ（呼吸器）	県立中央病院 内科部長
矢 澤 正 知	病態学Ⅷ（胸部外科）	県立中央病院 呼吸器外科部長
政 二 文 明	病態学Ⅷ（循環器）	県立中央病院 循環器科部長
濱 田 正 明	病態学Ⅴ（皮膚科）	県立中央病院 皮膚科医長
大 島 晃	病態学Ⅴ（眼科）	県立中央病院 眼科医長
丸 橋 敏 宏	病態学Ⅶ（生殖）	県立中央病院 産婦人科部長
藤 原 満	病態学Ⅴ（耳鼻咽喉科）	県立中央病院 耳鼻科医長
須 田 昌 司	乳幼児保健学	県立中央病院 小児科部長
丸 山 茂	助産診断技術学Ⅳ	県立中央病院 小児科医長
山 口 正 俊	薬理学	県立六日町病院 薬剤部長
小 野 喜志雄	保健行政論	新潟県福祉保健部 次長
片 桐 幹 雄	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 課長
峯 田 和 彦	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 歯科保健係長
山 崎 理	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 感染症対策係長
松 井 一 光	保健統計学	新潟県小出保健所 所長
後 藤 雅 博	地域精神保健学	新潟県精神保健福祉センター 所長
上 村 桂	疫学・環境保健論	新潟県長岡保健所 所長
西 脇 京 子	公衆衛生学	新潟県糸魚川保健所 所長
大 村 紘 一	関係法規	新潟県上越保健所 所長
石 本 勝 見	臨床心理学	新潟県コロンにいがた白岩の里 所長
荒 川 和 浩	関係法規	
丸 山 雄一郎	病態学Ⅰ（腎臓）	丸山内科クリニック
佐 藤 健比呂	病態学Ⅴ（71科→感染症）	内科さとう医院
山 川 かほる	カウンセリング	松浜病院 心理士

④ 事務職員名簿

(平成13年3月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	小 俣 新
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	宮 北 昭 治
	副 参 事 (庶 務 係 長)	杉 田 省 五
	主 査	高 橋 直 子
	主 任	本 間 徹
	主 事	内 田 恵 子
	嘱 託 員	関 根 加 代 子
教 務 学 生 課	副 参 事 (教 務 係 長)	村 松 良 雄
	主 任	石 川 光 司
	主 事	岡 本 剛
	嘱 託 員	佐 藤 直 美
	図 書 学 生 係 長	中 島 恒 光
	主 任	金 澤 昌 美
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	羽 生 田 崇
	〃	太 田 尊 文
	〃	秦 野 忠 男
	非 常 勤 職 員	中 島 佳 代 子

⑤ 教員の転入転出一覧表

(転入者)

職 名	氏 名	前 所 属	年 月 日
教 授	村 山 ヒサエ		13. 4. 1
〃	深 澤 佳代子	信州大学医学部付属病院	〃
講 師	直 成 洋 子		〃

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
助教授	小林ミチ子	新潟大学	13. 4. 1
〃	近藤好枝	慶応義塾大学	〃
講師	安田かづ子	新潟県退職	13. 3. 31
助手	小嶋久枝	〃	〃
〃	布施幸子	上越市役所	13. 4. 1

⑥ 事務局職員の転入転出一覧表

(転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
図書学生係長	池亀玲子	安塚土木事務所	13. 4. 1
主任	本山宏一	安塚地域福祉センター	〃

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
図書学生係長	中島恒光	県立妙高病院	13. 4. 1
主任	本間徹	上越財務事務所	〃

4 施設の概要

・施設面積	42,130 m ²		
・建物面積	鉄筋コンクリート造3階建	校舎棟	8,781 m ²
		体育館棟	1,323 m ²
		計	10,104 m ²

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン56台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

5 予算の状況(12年度当初)

(単位:千円)

事業名		予算額	事業名	予算額
教職員給与費		452,671	教育研究費	31,436
維持管理費		43,306	非常勤講師報酬等	16,448
運営費	運営費	28,769	公開講座事業費	94
	各種会議開催費	102	実習指導者養成委託費	736
	各種団体負担金	545	共同研究事業費	3,800
事務費	入学試験費	4,072	臨床実習指導費	6,456
	図書館費	8,058	学内ネットワーク構築費	7,492
	設備充実費	8,965	図書館システム	764
			合計	613,714

6 主要行事

(1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前 期	入 学 式	4月 6日 (木)
	学内ガイダンス	4月 6日 (木) ~ 4月 7日 (金)
	前期授業開始	4月 7日 (金)
	健康診断	4月 7日 (金) ~ 4月 10日 (月)
	学外ガイダンス (看護学科1年)	4月 11日 (火) ~ 4月 12日 (水)
	開学記念日	5月 8日 (月) 休 講
	戴 帽 式	5月 12日 (水) "
	夏季休業	7月 11日 (火) ~ 8月 31日 (木)
	前期試験	9月 11日 (月) ~ 9月 26日 (火)
	補 講	9月 19日 (火) ~ 9月 29日 (金)
後 期	後期授業開始	10月 2日 (月)
	大学祭準備	11月 17日 (金) 休 講
	大 学 祭	11月 18日 (土)
	冬季休業	12月 21日 (木) ~ 1月 10日 (水)
	後期試験	2月 5日 (月) ~ 2月 14日 (水)
	補 講	2月 13日 (火) ~ 3月 19日 (月)
	卒 業 式	3月 12日 (月)
	春季休業	3月 21日 (水) ~ 3月 31日 (土)

(2) 主要行事等の概要

① 入学式

看護学科第7期生109人、専攻科第4期生60人を迎える入学式が、磯部副知事を始め多くの来賓の出席をいただき、4月6日（木）午前10時30分から本学の体育館で挙行された。

② 戴帽式

5月12日（金）に、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第6回目の戴帽式が体育館で行われた。

3年生から戴帽生（2年生）1人ひとりにキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージに並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、加藤学科長の訓辞、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

< 誓いの言葉 >

私たちは、本学に入学して一年間、看護に携わっていくための基本的な学問を学んできました。

これから始まる臨床実習では、これまで学んできたことや臨床に接して感じ取れる数多くの体験を確実に自分の知識・技術とし、常に看護の本質とは何かを追求していく看護婦・看護師を目指します。

私たちは、いかなる状況にあっても喜びを忘れず、絶えず人を愛し、いたわりやさしく包むことができるようになることを誓います。
そして自分自身のあり方を見つめ人の心を思いやることのできる豊かな人間性を育むことを目指します。

私たちは、生命の尊厳という価値観に立ち自らの使命と向き合い誇りと責任のある看護婦・看護師になることを皆様に誓います。

③ 運営懇談会

開学後7回目の運営懇談会が平成12年11月17日に行われ、本学側から大学の当面する課題として、1. コンピューターネットワークの有効活用 2. 4年制大学への整備 3. 教員の確保と教育・研究環境の整備 4. 質の高い看護職者の養成について説明した後に、ア. 本学が地域社会に果たす役割は何か イ. 看護系大学である本学の教育研究について特に強化をすべきものは何か ウ. 高等学校及び看護の現場などから本学の看護教育に求めるものは何かについてのテーマで意見交換を行った。

④ 卒業式・修了式

本年度は、看護学科第5期生99人と専攻科第4期生60人（地域看護学専攻45人、助産学専攻15人）を送り出す卒業式及び修了式が平野出納長をはじめ、大澤上越教育大学長、深川厚生連上越総合病院長ほか、多くの来賓の出席をいただき、3月12日（月）午前10時から本校の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

7 教 育

(1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性、合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは、広い視野と柔軟な感性で看護の対象に向き合える能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展と向上に貢献できる探求心を養い、さらに、保健・医療・福祉チームの一員として関連職と連携し協調して看護職の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。

看護学科のカリキュラムは、3分野に大別し、「基礎分野」は科学的思考の基盤と人間と人間生活の理解に関する14科目を開講し全て選択科目である。「基礎専門分野」は人体の構造と機能、疾病の成り立ち回復促進及び社会保障制度と生活者の健康に関する22科目を開講しほぼ必修である。「専門分野」は基礎看護学、在宅看護論、精神看護学並びに人間の発達段階に応じた小児、成人、母性、老年の各々看護学に関する33科目を開講しほぼ必修科目である。さらに、「臨地実習」は看護学実習15科目全て必修科目である。なお、1年次前期から基礎専門分野及び専門分野の科目を配置し、看護学理解への導入としている。

専攻科地域看護学専攻のカリキュラムは、地域看護学概論をはじめとして27科目34単位開講し、その内30単位は必修である。30単位中7単位は臨地実

専攻科助産学専攻のカリキュラムは、助産学概論をはじめとして26科目33単位開講し、その内29単位は必修である。29単位中10単位は臨地実習である。

本学の教育の特徴の一つとして、IT時代に適応する看護職者の育成を目的として、コンピュータによる情報処理能力を身につけるため、関連科目の選択の有無に関わらず、入学当初、新入生全員を対象にコンピュータ操作をオリエンテーションし、コンピュータ室は常時開放している。

(2) 臨地実習について

看護学科は、2年次後期から3年次前期・後期にかけて、生命の誕生への援助、発達期にある幼児の保育、疾病をもつ人々への援助、老年者の介護や在宅療養者への訪問看護など、隣接する病院や保育所などと契約し、実習施設の実習指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

専攻科地域看護学専攻は、履修期間1年間において専門科目の進度に合わせながら、健康管理や家庭訪問など、上越地域の生活者を対象に、また県内保健所、市町村保健センターなどと契約し、実習施設の実習指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

専攻科助産学専攻は、履修期間1年間において専門科目の進度に合わせながら、母性管理や分娩の直接援助など、隣接する病院や開業助産婦会などと契約し、実習施設の臨床指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

なお、本学では多くの諸施設に学生を配置するため、開学以来学内に実習調整委員会を設け、実習指導準備やまとめについての調整会議を定期的に設けている。

さらに、施設の実習指導者育成のため県などの主催する研修会への派遣に要する費用を予算計上し、既研修者の数も増え実習指導に還元されてきつつある。

8 学生に関する状況

(1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成 13 年 3 月現在）

① 看護学科

	県内	県外	合計
1年	85人	24人	109人
2年	64人	35人	99人
3年	64人	35人	99人
合計	213人	94人	307人

② 専攻科

	県内	県外	合計
地域看護学専攻	31人	14人	45人
助産学専攻	9人	6人	15人
合計	40人	20人	60人

(2) 入学試験の状況

① 看護学科一般試験（募集人員 50 人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成11年度	総 数	264	210	80	70
	県 内	119	105	27	34
	県 外	145	105	53	36
平成12年度	総 数	354	260	72	59 (1)
	県 内	178	133	43	36 (1)
	県 外	176	127	29	23
平成13年度	総 数	482	372	53	50
	県 内	236	203	31	33
	県 外	246	169	22	17

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

② 看護学科推薦入試（募集人員 50 人 県内高校の 3 年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 11 年度	80	80	30	30 (1)
平成 12 年度	106	106	50	50 (3)
平成 13 年度	110	110	50	50 (2)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

③ 専攻科地域看護学専攻一般試験 (募集人員 23 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 11 年度	総 数	152	127	23	23
	県 内	53	48	3	15
	県 外	99	79	20	8
平成 12 年度	総 数	95	75	23	23 (3)
	県 内	40	36	11	15 (1)
	県 外	55	39	12	8 (2)
平成 13 年度	総 数	105	88	23	23
	県 内	34	31	11	11
	県 外	71	57	12	12

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試 (募集人員 22 人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 11 年度	50	49	22	22
平成 12 年度	48	48	22	22
平成 13 年度	53	53	22	22

【注】 上記表の () は男子を内数で示す。

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験 (募集人員 8 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 11 年度	総 数	49	48	8	8
	県 内	23	22	3	6
	県 外	26	26	5	2
平成 12 年度	総 数	35	31	8	8
	県 内	24	22	3	3
	県 外	11	9	5	5
平成 13 年度	総 数	45	43	8	8
	県 内	24	23	4	5
	県 外	21	20	4	3

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試 (募集人員 7 人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 11 年度	15	15	7	7
平成 12 年度	10	10	7	7
平成 13 年度	17	17	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

(平成 13 年 3 月現在)

日 本 育 英 会		新 潟 県 奨 学 金	新 潟 県 看 護 職 員 修 学 資 金	他 県
一 種		県教育委員会 月額 32,000 円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額 32,000 円 一般 " 16,000 円	岐阜県 長野県 戸倉町
自宅生	二 種 自宅外生			
7 人	64 人	11 人	4 人	52 人
				7 人

(4) 心理相談 (学生相談)

平成 7 年 4 月より、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が、学生相談の一部門として組織された。それに伴い設置された「心理相談室 (兼心理学準備室)」にて、心理相談担当教員がカウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たってきた。

平成 11 年度からは心理相談担当教員が転出したため、学生心理相談は、学年ディレクターが担当することとなったが、青年期アイデンティティに関わる問題や対人的な悩み、不安、学習意欲減退などの心理相談で一応の効果をあげている。

9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書館の各種方針

本学の図書館機能は、その教育活動方針にのっとり、1) 学習支援、2) 研究支援、3) 地域の看護・福祉関係者への情報提供、4) 学生生活への支援という 4 つの柱を基に構築されている。

第 1 の学習支援については、看護学関係の学習図書の充実を考え、次にその関連分野である医学、自然科学一般、統計学等に関する図書を整備してきた。これらの図書とは別に、ビデオ、LD、CD、カセットテープ及びCD-ROMなどマルチメディア製品の購入を図っている。

第 2 の研究支援では、看護学の学術情報、特に文献情報サービスの充実を図った。平成 12 年度現在で、図書館全体では 178 種類の各種雑誌を所蔵しているが、そのうち看護系

の雑誌は 82 種類を数えた。書誌情報誌としては、医学中央雑誌と日本看護関係文献集 International Nursing Index (INI)、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature (CINAHL)を備えている。

第 3 の地域の看護・福祉関係者への情報提供という、開かれた図書館を目指しての活動は、従来の方針どおり、看護や福祉関係等の学外者の学習と研究支援を目的に、図書の閲覧と貸出を行った。平成 12 年度に新規登録をした学外者は 94 名であり、年々利用者が増加している。

第 4 の学生生活支援については、学生が幅広い教養を身につけられるように専門書以外の教養図書の充実を図ることと、また大学入学と同時に多くの学生が一人暮らしを初めて経験することから、学生生活がスムーズに送れるような情報提供も図書館の使命の一つと考えた。そこで現代文学や推理小説などの気軽に読める文庫本をそろえたり、サークル活動に関連した参考図書や、また新聞・週刊・月刊の一般雑誌・タウン誌・地図・時刻表など生活に密着した資料も可能な限りそろえてきた。

② 情報検索システムの整備

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・ 国立情報学研究所とのオンライン文献検索 (NACSIS-IR)
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借
- ・ 医学中央雑誌 CD-ROM 版による検索 (LAN 仕様)
- ・ 国立情報学研究所の「目録所在情報サービス」への参加

③ コンピュータシステムの活用

次の図書館業務の効率化を図るため、コンピュータを導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷 ・ 統計処理
- ・ 学内LANを利用しての文献コピーサービス受付 ・ 相互貸借 (NACSIS-ILL)

④ 開館延長時間の実施

昨年度に引き続き、非常勤嘱託員を雇用し月曜日から金曜日 (大学の休業日を除く) は、午後 7 時 30 分まで開館時間を延長し、また、土曜日 (祝祭日と大学の休業日を除く) も午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで開館して学生及び学外利用者の利便を図った。

(2) 今後の整備方針

当館は看護の専門図書館として、引き続き看護、医療関連の図書・学術雑誌の充実を図りたい。

(3) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 類	視 聴 覚 資 料 点 数	
総 記	689	6	0	
哲 学	1,111	2	34	
歴 史	566	2	4	
社 会 科 学	4,197	16	78	
自 然 科 学	14,914	142	662	
技 術	526	6	22	
産 業	115	0	1	
芸 術	739	2	208	
言 語	1,161	1	5	
文 学	1,458	1	13	
計	25,476	178	1,027	
内 訳	和書	23,532	日本語	156
	洋書	1,944	外国語	22

(4) 図書館利用サービス

入 館 者 数		67,116 人 (内学外利用者 1,294 人)	
館外貸出	学 生	4,826 人	9,560 冊
	教職員・その他	838 人	1,966 冊
	計	5,664 人	11,526 冊
視 聴 覚 資 料		291 人	516 点
学外者利用カード登録者数		314 人 (平成 13 年 3 月 31 日現在)	

その他

① 文献検索	CD-ROM 検索	173 回
	NACSIS-IR 代行検索	2 件
② 相互貸借業務	他館への依頼	343 件
	” からの受付	15 件

10 教員の研究・研修活動

(1) 研究業績

①論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年	* 所属
臨床看護の場におけるインシデントの実態と発生要因の検討	<u>小野澤康子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 6, 71-90	2000	
基礎看護技術演習過程の評価の検討－演習過程に対する学生と教員の認識の相違－	<u>小林ミチ子</u> <u>西脇洋子</u> <u>岡村典子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 13-25	2000	
英語の授業における生徒指導的配慮－学習者の「傷つき体験」場面の視点から－	<u>中村博生</u>	新潟大学教育人間科学部英語学会 REUNION32, 36-41	2000	
EFL 学習者のリスニング能力と性格特性	<u>中村博生</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 6, 27-33	2000	
EFL 学習者のリスニング能力と自己申告性格特性	<u>中村博生</u> ほか	コミュニカティブ・ティーチング研究会紀要 7, 15-26	2000	
専門用語学習における学習方略指導	<u>廣瀬浩二*</u> <u>中村博生</u>	コミュニカティブ・ティーチング研究会紀要 7, 58-67	2000	*明倫短期大学
児童・生徒が荒れて求めるもの－学級崩壊の徴候と対策(事例研究)－	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 3, 31-56	2000	
思春期のヘルスコンサーンに関する研究－高校生と母親サンプルとの比較－	<u>小林優子</u> ほか	学校保健研究 42(5), 393-412	2000	
リラクセーション実施後のリラクセス反応の評価－「漸進的筋弛緩法」と「自律訓練法」の比較－	<u>小林優子</u>	看護技術 46(12), 1342-1347	2000	
成人看護学実習における「リラクセーション技法」の試み 学生が得られたリラクセス反応と学びの分析	<u>小林優子</u> <u>太田和美</u> <u>大井ひかる</u> <u>加藤光賢</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 3-12	2000	
看護婦のストレスに関する研究 第一報 仕事上のストレスと職務満足感および気分との関連	<u>小林優子</u> <u>原谷隆史*</u> <u>加藤光賢</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 47-55	2000	*労働省産業医学総合研究所

成人女子におけるエアロビックダンスエクササイズによる気分の変化—鍛錬者と初心者の比較—	<u>小林優子</u>	サーキュラー, 61, 127-133	2000	
Day Surgeryの周手術期看護に関する研究—手術を受けた患者の電話問い合わせ内容の分析—	高島尚美* 横井郁子** <u>秋山智弥</u> ほか	木村看護教育振興財団看護研究集録 8, 63-75	2001	*筑波大学 医療技術短期大学部 **埼玉県立 大学短期大学部
特別養護老人ホームにおける老人看護学実習の学習内容—実習記録の分析から—	<u>水口陽子</u> <u>田中キミ子</u>	老年看護学 5(1), 131-139	2000	
保健所保健婦の市町村保健活動支援におけるコンサルテーション機能の意義とあり方	<u>平澤則子</u> <u>小林恵子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u>	日本地域看護学会誌 3(1), 101-107	2001	
N 県内における訪問看護ステーションにおける看護職の教育ニーズ	<u>飯吉令枝</u> <u>熊倉みつ子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 6, 57-70	2000	
子どもの喪失と「物語」の再構築—田中六郎『戦死した武夫』に見る喪失体験	<u>渡辺弘之</u>	新潟県立看護短期大学人間科学研究会誌 人間科学研究 3, 59-102	2000	
高齢社会での雪処理問題と今後の対応法	<u>安田かづ子</u> <u>杉田収</u> <u>斎藤智子</u> <u>小林恵子</u> <u>関谷伸一</u> <u>佐々木美佐子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 35-46	2000	
青年男女における親性準備性の性差および母性度・父性度の発達—親性準備性の研究 (I) —	松岡治子* <u>和田佳子</u> ほか	母性衛生 41(4), 492-499	2000	*川崎市立看護短期大学
青年男女における母性度・父性度の発達に関連する要因の検討—親性準備性の研究 (II) —	松岡治子* <u>和田佳子</u> ほか	母性衛生 41(4), 500-505	2000	*川崎市立看護短期大学

マタニティ・ブルーズに関する 縦断的研究—妊娠期と産褥期と の比較による検討—	松岡治子* 酒井規子** <u>和田佳子</u> ほか	母性衛生 42(1), 191-197	2001	*川崎市立 看護短期大 学 **宮城県 人来田中学 校
---	--------------------------------------	---------------------	------	--

②著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集・著者名	分担執筆の題名	出版社・分担執筆頁	地名	年
新人ナース仕事 始めのシナリオ 増補改訂版	加藤光寶編著 <u>加藤光寶</u>	序, 各章扉 (I~VI)	ゆみる出版 2-3, 7, 27, 33, 109, 133, 143	東京	2000
		I 職場に慣れよう ・職場の人・環境にな れよう ・組織のことあれこれ ・仕事のこと ・入退院手続き	8-13 14-17 18 19-20		
		II 生活の援助 III 治療に関すること ・注射関係	28-32 38-50		
		VI 日常業務の中の必要 事項 ・クーリング ・感染予防 ・医療廃棄物やゴミの 分別 ・基本的関わり技法 ・看護職の成長・発達 のプログラム	144-145 146-148 149 150-153 159-164		
	<u>小林ミチ子</u>	I 職場環境になれよう ・死後の処置	21-26		
		III 治療に関すること ・与薬の知識 ・機械・器具を用いて 人工呼吸器 用手的人工呼吸器	34-37 79-88 89-95		
	<u>山田正実</u>	III 治療に関すること ・器械・器具を用いて 心電計 心電図モニター 救急カート 血糖日内変動	68-72 73-75 96-99 103-104		
		IV 周手術期の看護			

		術後の観察と方法 回復期の看護 V 急変時の看護	118-122 128-132 134-141		
	<u>秋山智弥</u>	IV 周手術期の看護 術後のペインコントロール	123-127		
	<u>大井ひかる</u>	VI 日常業務の中の必要事項 ・感染予防	146-148		
	<u>小林優子</u>	VI 日常業務の中の必要事項 ・検査値のみかた	154-157		
	<u>岡村典子</u> ほか著	III 治療に関すること ・機械・器具を用いて 輸液ポンプ 持続注入ポンプ 吸引器 ネブライザー 酸素吸入	51-53 54-56 57-62 63-67 76-78		
		IV 周手術期の援助 ・術前看護	110-114		
2001 年版保健婦(士)国家試験解答と解説	<u>松田正巳</u> <u>佐々木美佐子</u> ほか 解答・解説	地域看護学 I, 地域看護学 II, 保健福祉行政論	医学書院 32-66, 90, 163, 258-260, 264, 393- 395	東京	2000
エアロビックダンス基礎理論ハンドブック第7版	<u>池田美知子</u> 編著 <u>小林優子</u> ほか著	4 エロビックエクササイズと栄養	教育インフォメーションサービス 8-11	埼玉	2000
生命と社会を考える・社会福祉制度 2000-2001	<u>渡辺弘之</u> 編著		ページネーションシステム	上越	2000
看護観察のキーポイントシリーズ 小児 I	<u>宮崎和子</u> 監修 <u>桑野タイ子</u> 編 <u>大久保明子</u> ほか著	8 水分出納の観察 11 事故 A-b・c・d	中央出版 259-266 342-359	東京	2000
看護観察のキーポイントシリーズ 小児 II	<u>宮崎和子</u> 監修 <u>桑野タイ子</u> 編 <u>大久保明子</u> ほか著	17 循環器疾患をもつ小児の観察	中央出版 184-213	東京	2000

③学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発表年月日	発表地
手術時における体温低下予防の検討	井上智美 <u>加藤光寶</u>	平成 12 年度新潟県看護協会看護研究会	2000.11.28	新潟市
入院患者における血管確保の実態調査	栗山史 <u>加藤光寶</u>	平成 12 年度新潟県看護協会看護研究会	2000.11.28	新潟市
不穏状態にある MYD 患者の看護援助	<u>加藤光寶</u> ほか	厚生省精神・神経研究委託費 筋ジストロフィ患者のケアシステムに関する総合的研究<筋ジス研究福永班>平成 12 年度班会議 研究成果発表会	2000.12.4	東京都
筋ジストロフィー患者の在宅療養に対する不安について一主たる介護者の介護不安の検討一	遠藤幸 品田朋美 矢代ひさ子 田村久子 植木多美子 南雲壺巳 <u>加藤光寶</u> <u>小林優子</u> <u>太田和美</u>	厚生省精神・神経研究委託費 筋ジストロフィ患者のケアシステムに関する総合的研究<筋ジス研究福永班>平成 12 年度班会議 研究成果発表会	2000.12.4	東京都
上越地域の四施設に外来通院している糖尿病患者のフットケアの状況の検討	板垣雅美 <u>小野澤康子</u> <u>山田洋子</u> <u>太田和美</u> ほか	第 1 回上越地区糖尿病合併症研究会	2000.4.20	上越市
上越地域の四施設に外来通院している糖尿病をもつ患者のフットケア状況と患者の健康観や精神的支援ネットワークなどのケア関連要因との検討	篠原精子 <u>小野澤康子</u> <u>山田洋子</u> <u>太田和美</u> ほか	第 20 回上越糖尿病内分泌研究会	2000.7.7	上越市
上越地域の四施設に外来通院している糖尿病患者のフットケア状況に関連する要因の検討	<u>小野澤康子</u> <u>山田洋子</u> <u>太田和美</u> ほか	第 2 回新潟糖尿病合併症研究会	2000.9.9	新潟市
上越地域の四施設に外来通院している糖尿病患者のフットケア状況に関連する要因の検討	<u>小野澤康子</u> <u>山田洋子</u> <u>太田和美</u> ほか	第 1 回魚沼地区糖尿病合併症研究会	2000.10.13	小出町

上越地域の四施設に外来通院している糖尿病患者のフットケア状況とケアに関する要因の検討	<u>小野澤康子</u> ほか	第 20 回日本看護科学学会 学術集会	2000.12.16	東京都
心臓カテーテルを受けた患者の過去の手術経験によるオリエンテーション内容の記憶と不安・苦痛の分析	金子史代 <u>小野澤康子</u>	第 20 回日本看護科学学会 学術集会	2000.12.16	東京都
痴呆性高齢者の対応の現状—特別養護老人ホームにおける分析—	<u>田中キミ子</u> <u>水口陽子</u>	第 5 回日本老年看護学会	2000.11.12	津市
CHP/Hb・MB の改良法によるポリフェノール類の抗酸化能	杉田 収 <u>中野正春</u> ほか	第 47 回日本臨床病理学会	2000.11. 2	郡山市
Authentic English を教材とした Speaking Ability の育成—音変化に焦点をあてた Listening 指導をとおして—	<u>中村博生</u>	外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部 108 回 (2000 年度) 研究大会	2000.10.14	秋田市
リラクセーション技法を導入した授業の試み—漸進的筋弛緩法と自律訓練法のリラクセーション効果—	<u>小林優子</u>	第 9 回日本健康教育学会	2000.6.24	印旛村
エアロビックダンスによる心理的ストレスの軽減—POMS を用いた測定—	<u>小林優子</u>	平成 12 年度日本体育学会 測定評価専門分科会例会	2000.7.7	東京都
当院における母児同室制に対する褥婦の意識調査	金子智恵子 浅井千代子 <u>小林優子</u>	第 20 回関東甲信越地区看護研究学会	2000.10.13	甲府市
医療職をめざす学生の健康意識および行動の実態—臨床現場における卒後教育の有用性に向けて—	山田静子 <u>山本澄子</u> ほか	第 31 回日本看護学会—看護教育—	2000.8.24	新潟市
看護職に関する看護学生の認識の実態	<u>山本澄子</u> <u>森本美智子</u> ほか	日本健康科学学会第 16 回 学術大会	2000.11.4	東京都
看護婦の Burnout と性格特性との関連	近藤八恵美 山田静子 水野正延 <u>山本澄子</u>	第 17 回看護管理研究会	2000.12.9	名古屋市

小児看護学実習における「2人受け持ち」制の検討	<u>秋山啓子</u>	第10回日本小児看護学会 学術集会	2000.7.9	東京都
看護短大生の3年間の食生活の変化(1)－栄養素等摂取状況の経年比較－	<u>古川素子</u> <u>山田洋子</u>	第47回日本栄養改善学会	2000.9.8	東京都
看護短大生の3年間の食生活の変化(2)－食生活状況と意識の経年比較－	<u>山田洋子</u> ほか	第47回日本栄養改善学会	2000.9.8	東京都
糖尿病患者のフットケアに影響を及ぼす因子 －Multidimensional Health Locus of Control Scale (MHLC), 精神的支援ネットワーク, 糖尿病への関心との関連性－	<u>山田洋子</u> <u>小野澤康子</u> ほか	第5回日本糖尿病教育・看護学会	2000.9.24	横浜市
看護短大生3年間の食生活の経年比較	<u>古川素子</u> <u>山田洋子</u>	第4回新潟栄養・食生活学会	2000.12.2	新潟市
上越地域における新生児訪問指導の有用性と時期に関する褥婦の評価	<u>小林美代子</u> <u>安田かづ子</u> ほか	第31回日本看護学会－母性看護－	2000.10.6.	福井市
保健所保健婦の市町村保健活動支援におけるコンサルテーション機能(1)	<u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> ほか	第3回日本地域看護学会	2000.6.18	東京都
保健所保健婦の市町村保健活動支援におけるコンサルテーション機能(3)	<u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>佐々木美佐子</u> ほか	第3回日本地域看護学会	2000.6.18	東京都
コミュニティ・ミーティングの成果と課題(2)	<u>金子仁子</u> <u>米山奈奈子</u> <u>平澤則子</u> ほか	第59回日本公衆衛生学会	2000.10.18	前橋市
性の自己評価と夫婦の親密性・対等性	<u>平澤則子</u> <u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>安田かづ子</u> <u>小林美代子</u> ほか	第31回日本看護学会－母性看護－	2000.10.6	福井市

訪問看護ステーションに勤務する看護職の教育ニード(1)	<u>飯吉令枝</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>熊倉みつ子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u> ほか	第 59 回日本公衆衛生学会	2000.10.18	前橋市
助産婦学生の分娩介助技術の学習過程における不安に関する検討	<u>安田かづ子</u> <u>渡邊典子</u> <u>高塚麻由</u>	第 41 回日本母性衛生学会 総会	2000.9.29	岐阜市
訪問看護ステーションに勤務する看護職の教育ニード(2)	<u>熊倉みつ子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u> ほか	第 59 回日本公衆衛生学会	2000.10.18	前橋市
家族構成による父性意識の発達	<u>穂刈紀美</u> <u>吉道優子</u> <u>若松里奈</u> <u>和田佳子</u> <u>高塚麻由</u>	第 41 回日本母性衛生学会 総会	2000.9.29	岐阜市
在宅介護におけるおむつ交換の実態—患者・介護者の実態調査から—	<u>植田礼子</u> <u>大井ひかる</u> <u>加藤光寶</u>	平成 12 年度新潟県看護協会看護研究発表会	2000.11.29	新潟市
NICU 見学実習による対児感情の変化	<u>大久保明子</u> <u>福原紀</u> <u>秋山啓子</u> <u>和田佳子</u>	第 31 回日本看護学会—看護教育—	2000.8.24	新潟市
NICU 入室面会と看護婦の対応に関する調査	<u>高沢美代子</u> <u>蒲原美香</u> <u>大久保明子</u> ほか	第 20 回関東甲信越地区看護研究学会	2000.10.12	甲府市
保健所保健婦の市町村保健活動支援におけるコンサルテーション機能(2)	<u>斎藤智子</u> <u>小林恵子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>平澤則子</u> <u>飯吉令枝</u> ほか	第 3 回日本地域看護学会	2000.6.18	東京都
看護基礎教育における心肺脳蘇生法技術演習の検討(第 1 報)	<u>太田和美</u> <u>岡村典子</u> <u>布施幸子</u> <u>小野沢康子</u> ほか	第 31 回日本看護学会—看護教育—	2000.8.24	新潟市

めまい・突発性難聴・顔面神経麻痺患者の不安傾向と生活出来事尺度についての検討	<u>岡村典子</u> <u>太田和美</u> <u>加藤光實</u>	平成 12 年度新潟県看護協会看護研究会	2000.11.28	新潟市
介護認定調査の質に関する検討—介護認定審査会 1 次判定修正状況より—	<u>小嶋久枝</u> ほか	第 59 回日本公衆衛生学会	2000.10.18	前橋市
介護認定調査員資質向上への取り組み	北島正子 <u>小嶋久枝</u> ほか	第 59 回日本公衆衛生学会	2000.10.18	前橋市
おむつカバーと紙おむつの使用時における皮膚湿潤の比較	内藤栄美子 <u>山元智穂</u> <u>加藤光實</u> ほか	平成 12 年度新潟県看護協会看護研究会	2000.11.28	新潟市

④総説

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年
看護婦とストレスとは	小林優子	看護技術, 46(15), 1654-1659	2000
看護婦のストレスマネジメント	小林優子	看護技術, 46(15), 1660-1663	2000

(2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	掲載雑誌名・その他	年
Welcome to the 婦長 s Theater 第 1 話 婦長ってなに	<u>加藤光實</u>	看護管理, 10(10), 854-855	2000
Welcome to the 婦長 s Theater 第 2 話 婦長のパフォーマンス水準	<u>加藤光實</u>	看護管理, 10(11), 930-931	2000
Welcome to the 婦長 s Theater 第 3 話 婦長の品定め	<u>加藤光實</u>	看護管理, 10(12), 1018-1019	2000
Welcome to the 婦長 s Theater 第 4 話 叱り上手・誉め上手	<u>加藤光實</u>	看護管理, 11(1), 80-81	2001
Welcome to the 婦長 s Theater 第 5 話 婦長の 1 日は美しい演出で	<u>加藤光實</u>	看護管理, 11(2), 162-163	2001
Welcome to the 婦長 s Theater 第 6 話 実践婦長の癒し・関わり入門	<u>加藤光實</u>	看護管理, 11(3), 242-243	2001
Welcome to the 婦長 s Theater 第 7 話 勤務表に愛を込めて	<u>加藤光實</u>	看護管理, 11(4), 322-323	2001

患者の立場になって考える (5) 効果的に質問技法を用いて、患者さんの気持ちをくみ取るう	<u>加藤光實</u>	クリニカルスタディ, 21(9), 80-81	2000
資格試験カード：老人看護	<u>田中キミ子</u>	看護学生 48(10), 3-8	2000
CHALLENGE 資格試験：老人看護	<u>田中キミ子</u>	看護学生 48(12), 58-63	2000
快適住まい環境研究会報告 第5報— 高齢者のための施設と上越地域の住宅 を考える—	<u>杉田 収</u> <u>斎藤智子</u> <u>安田かづ子</u> <u>小林恵子</u> <u>関谷伸一</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>西脇洋子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 6, 97- 102	2000
訪問看護ステーションの教育ニーズに 関する研究報告書	<u>佐々木美佐子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>熊倉みつ子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u> ほか	平成 11・12 年度新潟県立看護短期大 学共同研究 訪問看護ステーション の教育ニーズに関する研究報告書	2001
保健婦・士教育の考え方に基づいた臨 地実習のあり方に関する調査報告書	<u>松本光江</u> <u>山崎京子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小林恵子</u> ほか	全国保健婦・士教育機関協議会, 教 育検討委員会関東甲信越ブロック保 健婦・士教育機関協議会	2000
生活に取り入れよう！リフレッシュタ イム「ストレッチング」	<u>小林優子</u>	看護学生 48(5), 34	2000
生活に取り入れよう！リフレッシュタ イム「お風呂」	<u>小林優子</u>	看護学生 48(5), 36	2000
生活に取り入れよう！リフレッシュタ イム「楽しく作り、おいしく食べる」	<u>小林優子</u>	看護学生 48(5), 39	2000
国試必勝！ベストコンディションの作 り方 ストレッチング	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 22(2), 69	2001
国試必勝！ベストコンディションの作 り方 お風呂	<u>小林優子</u>	クリニカルスタディ 22(2), 69	2001
臥床したまま行なう洗髪の工夫	<u>山本澄子</u> ほか	看護実践の科学 25(6), 6-7	2000
看護短大生における基礎体温測定によ る性機能状態の理解	<u>小林美代子</u> <u>和田佳子</u> <u>高塚麻由</u> <u>安田かづ子</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 91-95	2000

性生活における自己評価と夫婦のパートナーシップ	<u>平澤則子</u> <u>小林恵子</u> <u>斎藤智子</u> <u>安田かづ子</u> <u>小林美代子</u> ほか	第 31 回日本看護学会論文集—母性看護— 35-37	2000
コミュニティ・ミーティング (Community Meeting) 入門—その理念と実践—	<u>北山秋雄</u> <u>平澤則子</u>	日本看護協会平成 11 年度先駆的保健活動交流推進事業 コミュニティ・ミーティングガイド 4-20	2000
術後 2 日目に患肢のしびれを訴える患者への看護介入	<u>大井ひかる</u>	クリニカルスタディ 21(10), 888-893	2000
看護基礎教育における 2 年次学生の心肺脳蘇生法技術習得に関する検討	<u>太田和美</u> <u>岡村典子</u> <u>布施幸子</u> <u>小野沢康子</u> ほか	新潟県立看護短期大学紀要 6, 103-112	2000
NICU 見学実習による対児感情の変化	<u>大久保明子</u> <u>福原紀</u> <u>秋山啓子</u> <u>和田佳子</u>	第 31 回日本看護学会論文集—看護教育— 15-17	2000
看護基礎教育における心肺脳蘇生法技術演習の検討 (第 1 報)	<u>太田和美</u> <u>岡村典子</u> <u>布施幸子</u> <u>小野沢康子</u> ほか	第 31 回日本看護学会論文集—看護教育—, 90-92	2000
成人看護学実習における学内でのシミュレーションを取り入れた技術練習の効果	<u>太田和美</u> <u>小林優子</u> <u>加藤光實</u> <u>秋山智弥</u> <u>山田正実</u>	新潟県立看護短期大学紀要 6, 113-121	2000
生活に取り入れよう！リフレッシュタイム「マッサージ」	<u>垣内志保</u>	看護学生 48(5), 35	2000

(3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
看護研究の進め方	加藤光資	新潟県立中央病院看護研修	2000.4.25	上越市
看護研究 ①②	加藤光資	見附市立成人病センター病院看護部研修	2000.4.15, 5.13	見附市
看護研究 ① 研究の進め方 ② 研究のプロセス ③ 研究の実際	加藤光資	国立療養所新潟病院看護部研修	2000.5.25, 6.10,7.8	柏崎市
看護研究の進め方 ①, ②, ④, ⑤, ⑥	加藤光資	新潟労災病院看護部研修	2000.7.11, 7.18, 8.8, 9.13, 10.11	上越市
「看護論」ヘンダーソンを中心に	加藤光資	新潟県厚生農業協同組合連合会長岡中央総合病院看護教育研修Ⅱ	2000.8.9	長岡市
実習指導方法	加藤光資	新潟県福祉保健部看護研修Ⅱ	2000.9.20, 9.27,10.18	新潟市
事例検討	加藤光資	新潟県福祉保健部平成12年度実習指導者養成講習会	2000.10.4	新潟市
リーダーの役割 クリニカルリーダー	加藤光資	新潟県病院局総務課平成12年度中堅看護職員研修Ⅰ部	2000.10.5 ~10.6	新潟市
看護を科学する	加藤光資	新潟県看護協会	2000.11.1	新潟市
組織におけるリーダーシップ能力の育成	加藤光資	長岡赤十字病院リーダーシップ研修	2000.11.22	長岡市
看護理論 ロイ	加藤光資	厚生連糸魚川総合病院看護部研修	2000.11.11	糸魚川市
実習指導	加藤光資	加茂病院看護部研修	2000.12.6	新潟市
看護論	加藤光資	見附市立成人病センター病院看護部	2001.2.17	見附市

看護研究	加藤光賢	新潟県看護協会三条支部研究会	2001.3.3	三条市
療養指導の計画と評価	小野澤康子	新潟県糖尿病療養指導士育成推進協議会研修会	2001.3.4	新潟市
高齢化・少子化時代における住まい	杉田 収	第3回全国健康住宅サミット新潟大会	2000.7.8	新潟市
降雪地でのこれからの住宅	杉田 収	東北電力講演会	2000.8.29	十日町
やさしい検査診断学	杉田 収	平成12年度高田盲学校理療講話	2000.10.27	上越市
人にやさしいまちづくり	杉田 収	人にやさしいまちづくり推進シンポジウム	2001.3.24	上越市
高齢社会における自助、互助、共助、公助	佐々木美佐子	健康推進員協議会全体研修会	2000.4.21	柏崎市
介護概論	佐々木美佐子	浦川原村ホームヘルパー養成研修3級課程	2000.6.9	浦川原村
共感的理解と基本的態度の形成	佐々木美佐子	浦川原村ホームヘルパー養成研修3級課程	2000.6.22	浦川原村
実習指導の実際（在宅看護論実習）	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成12年度実習指導者養成講習会	2000.9.25	新潟市
介護における現状と課題	佐々木美佐子	平成12年度「ふるさと散歩道」	2000.10.11	大潟町
介護とこれからの住まい	佐々木美佐子	「チャリティ」少子高齢化の住まいフォーラム	2000.11.11	新発田市
介護とこれからの住まい	佐々木美佐子	「チャリティ」少子高齢化の住まいフォーラム	2000.12.9	三条市
地域特性や住民ニーズにそった事業計画の立案と保健婦・士の活動	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成12年度保健婦・士等新任者研修会	2000.12.21, 22	新潟市
地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学養護教諭特別別科養護教育実践研究	2000.12.15	新潟市

在宅看護論実習の展開と指導の実際	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成 12 年度在宅看護論実習指導者研修会	2001.2.9	新潟市
医学の基礎知識 I	関谷伸一	平成 12 年度新潟県ホームヘルパー養成研修 (2 級課程)	2000.7.18	上越市
精神疾患患者との接触技術 患者と看護者関係の理解	長野 勝	栗田病院院内研修会	2000.11.21	長野市
楽しい英語音声教材とコミュニケーション活動ービデオ教材の開発方法と活用方法ー	中村博生	上越英語科教員研修会 (エコー会研修会)	2000.11.19	上越市
看護研究③ 研究計画書の作成方法	小林優子	新潟労災病院看護部研修会	2000.7.25	上越市
簡単なストレッチングとリラクゼーション	小林優子	上越総合病院職員組合婦人部主催研修会	2001.2.17	上越市
看護研究における研究計画書の作成	秋山智弥	新潟県立新発田病院	2000.6.17	新発田市
“ひと” が “ひと” に関わるということ	秋山智弥	栗田病院看護部講演会	2000.7.26	長野市
老年期精神科看護概論	秋山智弥	国立療養所犀潟病院老人性痴呆疾患対策研修	2000.10.3	大潟町
心理面への援助方法	秋山智弥	上越市老人介護講習会 (ヘルパー 3 級対応コース)	2000.10.3	上越市
看護研究発表会 講評	秋山智弥	新潟県立新発田病院看護研究発表会	2001.2.24	新発田市
講義：実習指導の実際ー小児看護学実習	秋山啓子	新潟県福祉保健部平成 12 年度実習指導者養成講習会	2000.9.29	新潟市
演習：実習指導の実際ー小児看護学実習	秋山啓子	新潟県福祉保健部平成 12 年度実習指導者養成講習会	2000.10.5, 13, 19, 25, 26	新潟市

体・心の健康学	小林恵子	上越市東城町3丁目健康づくりリーダー会健康講座	2000.7.13	上越市
これからの介護住宅	小林恵子	新潟県住宅建設業協同組合介護住宅研究会介護住宅研究フォーラム	2000.11.13	長岡市
社会福祉制度とホームヘルパーの意義	渡辺弘之	ホームヘルパー2級養成研修	2000.7.10	上越市
ベトナムのいまとこれから+ベトナムにおけるハンセン病患者の状況について	渡辺弘之	新潟国際ボランティアセンター・NVC地球を知る市民講座	2000.7.15	新潟市
女性の生涯を通じた健康づくり	安田かづ子	新潟県食生活改善推進委員会三条支部協議会研修会	2000.5.30	見附市
4年生の性教育	安田かづ子	上越市春日山小学校4年生PTA学習会	2000.6.2	上越市
地域の育てる力を考える	安田かづ子	牧村祖父母教室—牧村生涯学習推進課	2000.9.14	牧村
子育て支援—地域・家族で協力して子育てを	安田かづ子ほか	ふるさと牧村塾—牧村生涯学習推進課	2000.11.11	牧村
更年期を生き生きと過ごすために	安田かづ子	北谷公民館女性セミナー	2001.3.4	見附市
女性のいきいきライフ 女性がいつまでも健やかに、充実した生活を送るために	安田かづ子	JA 女性部柿崎支部総会記念講演	2001.3.8	柿崎町
本当の意味での健康住宅を建てるには	斉藤智子	第3回全国健康住宅サミット新潟大会	2000.7.8	新潟市

(4) 学会及び社会での活動

氏名	事項	就任年
小野澤康子	新潟県糖尿病療養指導士育成推進協議会役員	2000
小野澤康子	上越地区糖尿病合併症研究会世話人	2000
小野澤康子	上越糖尿病内分泌研究会世話人	2000

田中キミ子	テレトピア・在宅看護研究会委員長	1998
田中キミ子	上越市 IT 戦略会議委員	2000
杉田 収	日本電気泳動学会評議員	1975
杉田 収	日本自動化学会評議員	1975
杉田 収	生物試料分析学会評議員	1991
杉田 収	日本臨床病理学会評議員	1991
杉田 収	日本臨床化学会評議員	1992
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会 委員	1996
佐々木美佐子	上越在宅ケア研究会幹事	1996
佐々木美佐子	全国保健婦教育機関協議会理事	1997
佐々木美佐子	上越市介護保険運営協議会委員	2000
佐々木美佐子	新井市介護保険運営評価委員会委員	2000
佐々木美佐子	新潟県介護保険審査会委員	1999
関谷伸一	上越市学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業モデル地域推進委員	1998
関谷伸一	公立短期大学図書館協議会 会長	2000
関谷伸一	日本図書館協会短期大学図書館部会 副部長	2000
小林ミチ子	日本看護学会（看護教育）抄録選考委員	1999
中村博生	関東甲信越英語教育学会理事	1990
山本澄子	日本看護学会（看護教育）抄録選考委員	1999
近藤好枝	日本助産学会誌査読者	2000
近藤好枝	新潟県准看護婦試験委員	2000
近藤好枝	日本助産学会 選挙管理委員	2001
水口陽子	テレトピア・在宅看護研究会委員	1998
小林恵子	上越市美しいまちづくり環境アドバイザー	1998
平澤則子	新潟県健康づくり総合センター実践指導プログラムに係る意見交換会構成員	2000
熊倉みつ子	全国膠原病友の会 栃木県支部相談役	1979
岡村典子	(財)全国農村保健研修センター臨床心理カウンセリング研究会 認定ファシリテーター	1999

(5) 教員海外研修

氏名	研修テーマ	研修地名	期間
渡辺弘之	東南アジア地域における NGO 育成と活動の展開について—フィールドワークの理論化からみた課題—	ベトナム・ホーチミン他	2000年8月

(6) 共同研究 (本学共同研究事業費による)

(本学教員は下線表示)

題名	研究者名	*所属	研究開始年	期間
新しい抗酸化能測定法の開発	<u>杉田 収</u> <u>中野正春</u> 松戸隆之* 岡田正彦* 石澤信人*	*新潟大学医学部検査 診断学	1998年	3年
老年者のコミュニケーション特性に関する研究	<u>田中キミ子</u> <u>水口陽子</u>		1999年	2年
これからの新生児訪問のあり方	<u>小林美代子</u> <u>安田かづ子</u> 矢坂陽子*	*新潟県上越テクノス クール	1999年	2年
訪問看護ステーションの教育ニーズに関する研究	<u>飯吉令枝</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>熊倉ミツ子</u> <u>小林恵子</u> <u>平澤則子</u> <u>斎藤智子</u>		1999年	2年
心臓カテーテル検査後の出血に及ぼす要因	<u>加藤光寶</u> 吉田 都* 佐藤誠美* 橋本亜紀* 大石根久子*	*心臓血管研究所附属 病院看護部	1999年	2年
看護の職業的能力やその発達に関する研究	<u>小林ミチ子</u> <u>山田正実</u> <u>太田和美</u> <u>岡村典子</u>		2000年	4年

在宅ケアを支える『住まい環境』の改善に関する研究	<u>安田かづ子</u> <u>杉田 収</u> <u>関谷伸一</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>小林恵子</u> <u>西脇洋子</u> <u>斎藤智子</u> 山際和子* 室岡耕次** 水戸美津子***	*新潟県福祉保健部福祉保健課 **ハート1級建築士事務所 ***山梨県立看護大学	2000年	3年
中高年のエアロビックダンス中の心拍数の変化とプログラム構成に関する研究	<u>小林優子</u> 太田あや子*	*武蔵丘短期大学	2000年	2年
看護職イメージに関する研究	<u>和田佳子</u> <u>小林ミチ子</u>		2000年	2年
老人看護学実習における日常生活援助技術の学習内容の分析	<u>水口陽子</u> <u>田中キミ子</u>		2000年	1年
産褥期における疲労回復に関する研究	<u>小林美代子</u> <u>安田かづ子</u> <u>和田佳子</u> <u>高塚麻由</u>		2000年	1年
新潟県内で行なわれている地域保健活動の類型に関する研究	<u>平澤則子</u> <u>佐々木美佐子</u> <u>熊倉ミツ子</u> <u>小林恵子</u> <u>飯吉令枝</u> <u>斎藤智子</u>		2000年	1年
社会をめぐる自己規律性と「崩壊」をめぐる諸問題について	<u>渡辺弘之</u> <u>中村博生</u> 山本誠一* 宮越幸代**	*宇都宮大学教育学部 **北里大学大学院	2000年	1年

11 大学の公開

(1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座の2講座を実施した。

① 専門公開講座 1

- ・テーマ 「看護研究の基礎」
基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。
- ・受講者 39人
- ・日程及び内容

日	時間	内 容	講 師
第1日目 7/17 (月)	8:30～ 9:00 9:00～ 9:15 9:15～ 9:30 9:30～10:30 10:30～10:40 10:40～12:00 12:00～13:00 13:00～14:20 14:20～14:30 14:30～16:00	開場・受付(第一合同講義室) 開講式 オリエンテーション 講義「臨床看護研究」 (休憩) 講義「看護研究の方法」 (休憩・昼食) (情報科学教室へ移動) 演習「コンピュータ操作の基礎」 (休憩) 演習「統計ソフト STATISTICA の基本操作」	学 長 斎 藤 秀 晃 学科長 加 藤 光 實 教 授 佐々木 美佐子 嘱託員 関 根 加代子 助教授 秋 山 智 弥 講 師 和 田 佳 子
第2日目 7/18 (火)	9:00～12:00 12:00～13:00 13:00～16:00	<グループワーク> 演習「データの考察」 (休憩・昼食) 演習「図表の作成」	8 グループ編成 1 加藤学科長 飯吉講師 山本助教授 斎藤助手 2 小野澤教授 安田講師 近藤助教授 太田助手 3 田中教授 熊倉講師 秋山(啓)講師 岡村助手 4 佐々木教授 和田講師 山田(洋)講師 布施助手 5 長野助教授 山田(正)講師 水口講師 森本助手 6 小林(ミ)助教授 大井講師 小林(美)講師 小嶋助手 7 小林(優)助教授 大久保助手 小林(恵)講師 垣内助手 8 秋山(智)助教授 高塚助手 平澤講師 山元助手
第3日目 7/19 (水)	9:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:20 14:20～14:30 14:30～14:50 14:50～15:00 15:00～15:45	<グループワーク> 演習「報告書の作成」 (休憩・昼食) 演習「グループワークのまとめ」 (休憩) 本学助手のまとめ (休憩) 閉講式	

② 専門公開講座 2

- ・テーマ 「ヘルスプロモーションのためのエアロビックダンスエクササイズ」
 (1)健康増進のための運動について、その理論と実際を学ぶ。
 (2)自己の健康増進、健康管理のために実施する方法を修得する。
- ・受講者 12人
- ・日程及び内容

日 時	内 容	講 師
10月4日 (水)	13:30~14:00 開場・受付	学 長 齋 藤 秀 晃
	14:00~14:15 開講式	
14:15~14:30 オリエンテーション		
14:30~16:00	講義 <ul style="list-style-type: none"> ・有酸素運動の基礎知識 ・エアロビックダンスプログラムの構成 ・筋肉トレーニングの効果 ・健康運動が心理的側面に与える影響 ・姿勢と腰痛予防 	助教授 小 林 優 子
11日 (水)	14:30~15:00 (解説)	助教授 小 林 優 子
	15:00~16:00 (実技)	
18日 (水)	14:30~15:00 (解説)	
	15:00~16:00 (実技)	
25日 (水)	14:30~15:00 (解説)	
	15:00~16:00 (実技)	
11月1日 (水)	14:30~15:00 (解説)	
	15:00~16:00 (実技)	
8日 (水)	14:30~15:00 (解説)	
	15:00~16:00 (実技)	
16:15~17:00	閉講式	

③ 一般公開講座

- ・テーマ 『健康と活性酸素』
- ・講演 教授 杉田 収
- ・受講者 100人
- ・日程 平成12年11月18日(土)
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室

12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

(1) 大学祭『桜桃祭』開催

- ・日時：平成12年11月18日(土)
- ・来校者：約700人
- ・テーマ：「体力測定・健康チェック」
「研究発表……快適住まい研究会」
「献血事業」
- ・一般公開講座：「健康と活性酸素」

(2) サークル活動

サークル名

- | | |
|-------------|----------|
| ・バトミントン | ・硬式テニス |
| ・バスケットボール | ・バンドサークル |
| ・もしもし亀さん応援団 | ・バレーボール |
| ・快適住まい環境研究会 | ・ボランティア |
| ・水研究会 | ・合唱サークル |
| ・エアロビクス研究会 | |

資 料

主要行事日誌

4月3日(月)	辞令交付…教員6名採用、事務職員3名転任
6日(水)	第7回入学式
6日(水) ~7日(金)	在学生ガイダンス、学生健康診断前期授業開始、入学生健康診断
11日(火) ~12日(水)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
19日(水)	定期監査(書記)
26日(水)	”(委員)
5月8日(月)	開学記念日
12日(金)	第5回戴帽式
19日(金)	関東ブロック公立短期大学協議会臨時会 …東京都で開催 斎藤学長出席
26日(金)	日本図書館協議会短期大学部会 …東京都で開催 関谷図書館長出席
30日(火) ~31日(水)	全国公立短期大学協会第50回通常総会 …松江市で開催 斎藤学長、小俣事務局長、 加藤看護学科長出席
6月15日(木) ~16日(金)	第61回関東ブロック公立短期大学協議会 …横浜市で開催 斎藤学長出席
22日(木)	日本図書館協議会短期大学部会ワークショップ …東京都で開催 関谷図書館長出席
30日(金)	新潟県図書館協議会総会 …新潟市で開催 関谷図書館長、吉原司書出席
7月6日(木)	大学説明会……県内の高校30校参加
11日(火)	夏季休業
~ 8月31日(木)	
13日(木)	全国公立短期大学協会事務職員中央研修会議 …東京都で開催 石川主任出席
15日(土) ~16日(日)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
17日(月) ~19日(水)	専門公開講座I(受講生39名)
24日(月) ~25日(火)	第28回全国公立短期大学協会医療看護系協議会通常総会 …名寄市で開催 斎藤学長、加藤看護学科長、小野澤教授出席
28日(金)	全国公立短期大学協会関東ブロック事務担当者会議 …本学で開催
8月3日(木)	学校説明会……高校生60名参加
4日(金)	公立短期大学図書館協議会関東地区ブロック会議 …千葉市で開催 関谷図書館長、吉原司書出席
17日(木)	学校説明会……高校生81名参加

17日(木) ~18日(金)	公立短期大学図書館協議会職員研修会 …会津若松市で開催 関谷図書館長、吉原司書出席
24日(木)	学校説明会……高校生 44名参加
28日(月)	全国公立短期大学協会事務局長会議・幹部研修会 …東京都で開催 斎藤学長、小俣事務局長出席
31日(木)	年報第6号発行
9月11日(月) ~26日(火)	前期試験
28日(木) ~29日(金)	1年生解剖見学…新潟大学医学部で人体解剖見学
10月2日(月)	後期授業開始
4日(水)	専門公開講座Ⅱ (以後毎週水曜日計6回)
5日(木)	公立短期大学図書館協議会総会…高知市で開催 関谷図書館長 中島図書学生係長、吉原司書出席
18日(水)	ロータリークラブ関係者視察
24日(火)	全国公立短期大学協会学長会…東京都で開催 斎藤学長出席
24日(火) ~27日(金)	第86回全国図書館大会…沖縄県で開催 関谷図書館長出席
25日(水)	短期大学教育50周年記念式典 …東京都で開催 斎藤学長、内田主事出席
11月1日(水) ~2日(木)	第31回公立医療短期大学事務局長会議 (本学当番) …上越市で開催 斎藤学長、小俣事務局長、宮北課長 杉田副参事、本間主任出席
7日(火) ~13日(月)	専攻科推薦入試願書受付…応募者 70人
13日(月) ~17日(金)	看護学科推薦入試願書受付…応募者 110人
17日(金)	第7回大学運営懇談会
18日(土)	大学祭、一般公開講座
26日(日)	専攻科推薦入試日………受験者 70人
12月1日(金)	紀要第6巻発行
1日(金)	専攻科推薦入試合格者発表…合格者 29人
4日(月)	学科長候補者選挙投票日
10日(日)	看護学科推薦入試日………受験者 110人
11日(月)	学科長候補者選挙再投票日
14日(木) ~21日(木)	専攻科一般入試願書受付…応募者 150人
15日(金)	看護学科推薦入試合格発表…合格者 50人
21日(木)	冬季休業
~ 1月10日(水)	
1月15日(月) ~19日(金)	看護学科一般入試願書受付…応募者 482人
21日(日)	専攻科一般入試日………受験者 131人
26日(金)	専攻科一般入試合格発表…合格者 31人
2月5日(月) ~9日(金)	専攻科後期試験
5日(月) ~14日(水)	看護学科後期試験

8日(木)	出納局会計実地検査
16日(金)	福祉保健部所長会
22日(木)	保健婦国家試験
23日(金)	看護学科一般入試日……………受験者 372人
23日(金)	助産婦国家試験
25日(日)	看護婦国家試験
26日(月) ~27日(火)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
3月2日(金)	看護学科一般入試合格発表…合格者 53人
12日(月)	第5回卒業式・第4回修了式
21日(火)	春季休業
~ 31日(木)	
30日(火)	退職辞令交付…5名

教授会・委員会の活動

(1) 教授会の活動

- 第 1 回 (12. 4. 10) ・平成 12 年度主要推進事項について
- 第 2 回 (12. 5. 1) ・平成 12 年度主要推進事項について
・学校案内パンフレットの作成について
・平成 12 年度専門公開講座の実施について
- 第 3 回 (12. 6. 5) ・平成 12 年度主要推進事項について
・専攻科の学外実習配置について
・学校案内パンフレットの作成について
- 第 4 回 (12. 6. 12) ・平成 13 年度学生募集要項について
・大学説明会について
- 第 5 回 (12. 7. 3) ・前期試験時間割りにについて
- 第 6 回 (12. 9. 4) ・看護学科長候補者選挙管理委員会の設置について
- 第 7 回 (12.10. 2) ・看護学科長候補者選挙管理委員会の設置について
・平成 13 年度学年暦 (案) について
・新潟県立看護短期大学図書館図書等の除籍処分基準 (案) について
- 第 8 回 (12.11. 6) ・教員退職時における研究費で購入された図書の取り扱いに関する申し合わせ (案) について
- 第 9 回 (12.11.30) ・平成 13 年度専攻科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 10 回 (12.12. 4) ・協議事項なし
- 第 11 回 (12.12.11) ・協議事項なし
- 第 12 回 (12.12.14) ・平成 13 年度看護学科推薦入学者選考試験合格者の決定について
・看護学科長候補者の決定について
- 第 13 回 (13. 1. 15) ・学生の休学について
- 第 14 回 (13. 1. 25) ・平成 13 年度専攻科一般入学者選考試験合格者の決定について
・平成 13 年度後期試験時間割りにについて
- 第 15 回 (13. 2. 5) ・ネットワーク (NCN-net) 利用規程の運用について
・平成 13 年度時間割りにについて
・平成 13 年度 3 年次生実習配置計画について
・平成 13 年度ガイダンス及び健康診断について
- 第 16 回 (13. 2. 15) ・協議事項なし
- 第 17 回 (13. 3. 1) ・平成 13 年度看護学科一般入学者選考試験合格者の決定について
- 第 18 回 (13. 3. 5) ・卒業・修了判定について
・平成 13 年度各種委員会及びクラスディレクターの構成について
・新潟県立看護短期大学教員の定年に関する規程の改正について
- 第 19 回 (13. 3. 15) ・進級判定について
・新潟県立看護短期大学教員の任期に関する規程について

(2) 各委員会の活動

① 企画委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) ・ 企画委員会正副委員長について
・ コンピューター部会について
- 第 2 回 (12. 4. 17) ・ 公開講座の実施について
・ 退職した教員が研究費で購入した図書の取扱いについて
・ 教育設備機器等の購入について
- 第 3 回 (12. 5. 8) ・ 平成 12 年度主要推進事項について
・ 図書館のホームページ更新について
- 第 4 回 (12. 6. 12) ・ ホームページの運営について
- 第 5 回 (12. 7. 10) ・ 学内専用ホームページの更新内容について
・ 学生の学外接続について
- 第 6 回 (12. 9. 11) ・ 条例改正について
- 第 7 回 (12. 11. 13) ・ 校舎増築工事等について
- 第 8 回 (12. 12. 11) ・ 平成 13 年度予算要求について
- 第 9 回 (13. 1. 22) ・ 卒業式・修了式について
・ ネットワーク (NCN-net) 利用規程の運用について
- 第 10 回 (13. 2. 9) ・ 平成 13 年度の各種委員会及びクラスディレクターの構成について
・ 教員の定年に関する規程改正について
・ 平成 13 年度入学式について
・ 教材費プール分 (385,000 円) の用途について
- 第 11 回 (13. 3. 15) ・ 研究費 (備品購入費残金 757,000 円) の用途について
・ 平成 13 年度教育研究費の配分について
・ 平成 13 年度教材費の配分について
・ 教員の任期に関する規程 (案) について
・ ホームページに教職員紹介を掲載することについて (追加)

② 教務委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) ・ 委員長、副委員長選出
・ 定例委員会と書記順について
- 第 2 回 (12. 4. 17) ・ 委員会活動の年間予定について
・ 選択科目の履修届について
- 第 3 回 (12. 5. 15) ・ 専攻科実習配置について
- 第 4 回 (12. 6. 19) ・ 保健体育の集中授業について
・ 前記試験日程について
- 第 5 回 (12. 7. 24) ・ 実習配置計画について
- 第 6 回 (12. 9. 18) ・ 平成 13 年度学年暦について
・ 平成 13 年度非常勤講師について
・ 看護過程演習日程について
- 第 7 回 (12. 10. 23) ・ 平成 13 年度非常勤講師予定者について
・ 後期選択科目の履修変更届状況について
- 第 8 回 (12. 11. 20) ・ 前期試験結果について
・ 平成 13 年度時間割について
- 第 9 回 (12. 12. 18) ・ 学生の休学について
・ 前期試験結果の最終確認について
- 第 10 回 (13. 1. 29) ・ 平成 13 年度時間割作成について
・ 保健体育(実技)冬季集中講義計画について
・ 卒業判定並びに進級判定スケジュールについて
- 第 11 回 (13. 2. 28) ・ 平成 12 年度看護学科卒業判定について
・ 平成 12 年度専攻科修了判定について
・ 平成 12 年度卒業認定について
- 第 12 回 (13. 3. 15) ・ 平成 12 年度看護学科進級判定について
・ 学生の復学申請について

③ 学生委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会開催日程について
・ 学外ガイダンス全体打ち合わせについて
- 第 2 回 (12. 4. 24) ・ 学生委員会年間スケジュールについて
・ 平成 12 年度のガイダンス総括について
・ 平成 12 年度の保健室管理について
・ 奨学金の手続き、授業料の減免について
- 第 3 回 (12. 5. 15) ・ 平成 12 年度奨学生選考について
- 第 4 回 (12. 5. 22) ・ 学生の健康診断結果概要について
・ 平成 12 年度ガイダンスのアンケート調査について
・ サークル活動について

- 第 5 回 (12. 6. 26) ・ 学生生活アンケート調査について
・ 夏季休業中の生活指導について
- 第 6 回 (12. 7. 24) ・ 学生生活アンケート調査について
・ 平成 12 年度「大学祭」スケジュールについて
- 第 7 回 (12. 9. 25) ・ 平成 12 年度「大学祭」の計画概要について
・ 学生生活のアンケートについて
- 第 8 回 (12. 10. 30) ・ 平成 12 年度「大学祭」の概要について
- 第 9 回 (12. 11. 27) ・ 平成 12 年度「大学祭」の総括について
・ 授業料の減免について
・ 食堂委員会の開催について
・ 学生生活のアンケートについて
- 第 10 回 (13. 1. 29) ・ 学生生活のアンケートについて
・ 食堂委員会について
・ 平成 13 年度学内・学外ガイダンス基本方針について
- 第 11 回 (13. 2. 25) ・ 学生生活アンケート集計結果について
・ 食堂委員会の実施報告について
・ 平成 13 年度学内・学外ガイダンスについて
- 第 12 回 (12. 3. 15) ・ 平成 13 年度学外・学内ガイダンスの詳細について
・ 保健室の利用状況取りまとめについて

④ 入試委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) ・ 委員長、副委員長選出
・ 定例会日の決定について
- 第 2 回 (12. 4. 10) ・ 平成 13 年度入試日程について
・ 入試委員の役割分担について
- 第 3 回 (12. 5. 1) ・ 大学説明会について
・ 学校案内パンフレットについて
・ 大学案内について
- 第 4 回 (12. 6. 12) ・ 平成 13 年度学生募集要項原案の検討について
・ 大学説明会について
- 第 5 回 (12. 7. 10) ・ 入試向け大学ホームページについて
- 第 6 回 (12. 9. 11) ・ 平成 13 年度看護学科及び専攻科推薦入試実施要領の検討
- 第 7 回 (12. 10. 16) ・ 平成 13 年度看護学科及び専攻科一般入試実施要領の検討
- 第 8 回 (12. 3. 13) ・ 平成 13 年度入学者選考試験の総括

⑤ 図書委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会の開催日程について
- 第 2 回 (12. 4. 24) ・ 平成 11 年度図書委員会引継事項の確認について
・ 平成 12 年度図書委員会年間計画について
・ 図書館だよりについて
・ 継続購入図書の検討について
- 第 3 回 (12. 5. 15) ・ 継続図書の検討について (継続)
・ 廃棄図書等の基準 (案) について
- 第 4 回 (12. 6. 19) ・ 継続図書の最終決定について
・ 廃棄図書等の基準 (案) について (継続)
・ 図書取扱い申し合わせ事項の検討について
・ 医中誌の冊子版停止について
・ 図書館ホームページ担当の変更について
- 第 5 回 (12. 7. 12) ・ 廃棄図書等の基準 (案) の再検討について (継続)
・ 図書取扱い申し合わせ事項の検討について (継続)
・ 平成 12 年度定期選書及び参考書 (シラバス) 購入について
・ 備品費の取り扱いについて
・ 継続購入雑誌の見直しについて
・ 自己点検に伴う図書館改善方針について
- 第 6 回 (12. 9. 18) ・ 廃棄図書基準 (案) の再検討について (継続)
・ 図書取扱い申し合わせ事項の検討について (継続)
・ 教員リクエスト図書について
・ 継続購入雑誌の見直しについて (継続)
・ 自己点検に伴う図書館改善方針について
- 第 7 回 (12. 10. 23) ・ 廃棄図書基準 (案) の再検討について (継続)
・ 図書取扱い申し合わせ事項について (継続)
・ リクエスト図書について (継続)
・ 図書館ホームページについて
- 第 8 回 (12. 11. 20) ・ 廃棄図書基準 (案) の再検討について (継続)
・ 図書館の基本方針について
・ 備品購入費の取扱いについて
- 第 9 回 (12. 12. 18) ・ 廃棄図書基準 (案) の再検討について (継続)
・ リクエスト図書について (継続)
・ 国立情報学研究所が O U P 電子ジャーナルのトライアルについて
・ 購入図書の追加について
- 第 10 回 (13. 1. 22) ・ 廃棄図書基準 (案) について (継続)
・ 紀要案内の処理について
・ 継続購入図書について
- 第 11 回 (13. 2. 19) ・ 紀要の収集について

- ・平成 12 年度予算執行状況及び平成 13 年度予算について
- ・平成 13 年度図書館開放について
- ・教員退職時における研究費購入図書取扱について
- 第 12 回 (13. 3. 21) 平成 12 年度図書委員会総括について
- ・平成 13 年度図書委員会への引継事項について

⑥ 紀要委員会

- 第 1 回 (12. 4. 4) 委員長、副委員長の選出及び役割分担について
- ・定例委員会と書記順について
- 第 2 回 (12. 4. 24) 紀要、年報作成計画について
- 第 3 回 (12. 5. 22) 平成 11 年度年報編集について
- ・平成 12 年度紀要発行スケジュールについて
- 第 4 回 (12. 6. 26) 平成 11 年度年報作成状況確認について
- ・平成 12 年度紀要投稿提出状況について
- ・図書館ホームページへの紀要目次の掲載について
- 第 5 回 (12. 8. 28) 紀要原稿提出状況と査読者の決定
- 第 6 回 (12. 9. 25) 紀要査読状況について
- ・紀要査読のあり方について
- 第 7 回 (13. 2. 26) 紀要査読のあり方について
- ・平成 12 年度年報作成にあたっての業績収集について